

はりま病院広報誌



第11号

2013年10月発行

編集発行

特定医療法人社団仙齡会

はりま病院 広報委員会

大腸憩室をご存じですか

副理事長 柏木 亮一



腹痛や血便の診断の際、忘れてはならないのが大腸憩室（けいしつ）です。たとえば右下腹部痛と発熱があれば、まず急性虫垂炎が疑われますが、必ず鑑別（区別）しなければならない疾患が憩室炎です。虫垂炎なら緊急手術が原則ですが憩室炎なら切らずに治せます。また突然、前触れもなく多量の血便を認めた時にも憩室出血の可能性を考える必要があります。

憩室についてはご存じない方も多く、説明するのが難しい病気です。憩室とは腸管の一部が外側に向かって袋状にとびだしたもので、たとえばお餅を焼いた際にふくれて出てくるようなものです。大腸内視鏡検査で内側からみるとくぼみのようになっています。

憩室は腸管内圧の上昇によって、大腸壁の筋肉層に血管が通っている隙間を粘膜が貫いて脱出して発生すると考えられています。食物線維不足や食事内容の欧米化、高齢化で増加するといわれ、憩室の頻度は日本では 10-20%、欧米ではもっと多く 30-40% と報告されています。

憩室の存在診断には大腸透視や大腸内視鏡検査が有効です。憩室炎の診断は痛みの部位を腹部エコー検査や腹部 CT 検査で調べます。憩室出血の診断には内視鏡検査を緊急に行うこともあります。

治療は炎症に対して抗生素の使用（経口または点滴）や安静、食事療法、憩室出血には内視鏡的止血術が有効です。

お腹が張ったり痛んだりしやすい人や便通不順の人は大腸に憩室があるかもしれません。憩室をお忘れなく。

リハビリテーション室

リハビリテーション室主任 鈴木 克俊
理学療法士 野口 直樹

正面玄関を入り、左手に進み受付横の通路の突きあたりにリハビリテーション室がございます。リハビリテーション室では消炎鎮痛を中心とする物理療法のエリアと日常生活に関わる動作を改善させる運動療法のエリアに分かれています。物理療法エリアには物理療法機器として牽引機器、低周波治療器、温熱療法機器等が揃っており、運動療法エリアには、歩行訓練用器具や平行棒、訓練用階段、作業療法用テーブル、レッドコードなどの様々な訓練用機器が揃っております。中でも今年3月に導入しましたウォーターベッドは、患者様の評判も上々です。

次にスタッフの紹介をさせて頂きます。理学療法士3名、作業療法士2名、鍼灸師・マッサージ師2名の7名で構成されておりまして、整形外科的疾患はもちろん内科的疾患にも広く対応できるスタッフとなっております。はりま病院リハビリ室のモットーは、「明るくアットホームな雰囲気で患者様が納得のいくリハビリテーションサービスを心がける」であり、陽光の差し込む明るい部屋でスタッフは日々、患者様に明朗な応対をし、気持ちよく過ごして頂けるよう配慮しています。

リハビリ室を写真と共に紹介させて頂きます。



人気ナンバー1のウォーターベッドです。
身体全体を水の圧力で優しく
マッサージする機器です。



他の物療機器(温熱・低周波・牽引)も数多く配備しております。



レッドコードは幅広い層に適切で安全な
運動を提供できるノルウェーで開発された
運動器具です。



運動器具(平行棒・訓練用階段・訓練用ベッド)も充実しております。



もの忘れ外来のご案内

医師 岩崎滋徳

“もの忘れ”が気になっておられる方のための外来です。

私たちは年齢を重ねると“もの忘れ”が多くなってきます。多くは年相応の“もの忘れ”ですが「もしかしたら認知症になったのではないか?」と不安に思っておられる方のために「もの忘れ外来」を行なっております。

例えば、

- さっき食べたご飯のメニューを思い出せないのは、年齢によるもの忘れ。
- さっき食べたこと自体を覚えていないのは、認知症（病気によるもの忘れ）の疑いがあります。

その方の“もの忘れ”が自然の経過によるものか、病気によるものかを診断し必要に応じて治療を行ないます。

*** 早期受診のお勧め ***

たとえ認知症と診断されたとしても、早い段階で治療を始めれば進行を遅らせることができます。また、病気の種類によっては適切な治療により治す事も可能です。

早期の診断、治療をお勧めします。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



※「もの忘れ外来」は予約制をとっており、毎週金曜日午前9時より診察致します。

（診察時間は1時間から1時間半を予定しております。）

ご相談ご予約は、病院受付または電話にてお気軽にご相談下さい。

□家族のための認知症を疑うチェックリスト

このチェックリストを使用してみてください。
ただし、この結果だけで認知症の診断はできません。
あくまで「疑いの目安」にすぎません。

使い方	本人の現在の日常生活と1年前の状態を比べてください。総合得点が24点以下の場合、認知症の疑いがあります。	変わらない			多少悪くなつた			とても悪くなつた		
① 曜日や月がわかるか	2 1 0									
② 前と同じように道がわかるか	2 1 0									
③ 住所・電話番号を覚えているか	2 1 0									
④ 物がいつもしまわれている場所を覚えているか	2 1 0									
⑤ 物がいつもの場所にないとき、見つけることができるか	2 1 0									
⑥ 洗濯機やテレビのリモコンなどの電気製品を使いこなせるか	2 1 0									
⑦ 自分で状況にあった着衣や更衣ができるか	2 1 0									
⑧ 買い物でお金を払えるか	2 1 0									
⑨ 身体の具合がわるくなったわけではないのに、行動が不活発になったか	2 1 0									
⑩ 本の内容やテレビの筋がわかるか	2 1 0									
⑪ 手紙を書いているか	2 1 0									
⑫ 数日前の会話を自分から思い出すことができるか	2 1 0									
⑬ 数日前の会話の内容を思い出させようとしても難しいか	2 1 0									
⑭ 会話の途中で言いたいことを忘れることがあるか	2 1 0									
⑮ 会話の途中で適切な単語がでてこないことがあるか	2 1 0									
⑯ よく知っている人の顔がわかるか	2 1 0									
⑰ よく知っている人の名前を覚えているか	2 1 0									
⑱ その人たちがどこに住んでいるか、仕事などがわかるか	2 1 0									
⑲ 最近のことを忘れっぽくなつたか	2 1 0									

※本問昭・認知症介護研究・研修東京センター センター長 監修
(フランスの精神科医リッチャーによる論文=1996年=をもとに作成)

合計 点

新人職員紹介



看護師 畑 美香

6月より2階病棟でお世話になっております。慣れない環境で緊張していますが楽しく働かさせて頂いてます。先輩方にはご迷惑を掛けてしまいますが、学ぶことがたくさんあります。これからも色々な事を学びながら、一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。



看護師 牛丸ゆかり

4月より、3階病棟で勤務させていただいてます。外科病棟で働くのは初めてなので、日々戸惑いも多く、スタッフみなさんのフォローに支えられています。経験も浅く未熟者ですが、色々な事を学びながら頑張りたいと思います。これからも沢山迷惑をかけると思いますが、御指導よろしくお願いします。



看護助手 山本淳子

7月から外来（主に内視鏡室）で勤務しております、山本です。3月末までは、中材でお世話になっておりました。出産の為、一度退職いたしましたが、体調も良く、早期に復職させて頂くことになりました。今回また新たな仕事内容ですが、毎日が勉強と思い、頑張っています。まだまだ迷惑をおかけする事もあると思いますが、ご指導の程をよろしくお願いします。



作業療法士 嶋田 陽子

はじめまして。6月から作業療法士として勤務させて頂いております嶋田と申します。働き始めて、はや3ヶ月が経過しましたが、まだ慣れないことが多い、皆様方にはご迷惑をおかけしております。

私のモットーは“時間のゆとりは心のゆとり”と感じています。常にゆとりを持つことを心がけています。また、笑顔を絶やさないように！とも思っています。まだまだ、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



看護師 赤川明子

“和”的ある職場。それが、はりま病院の印象です。子どもの都合で一旦退職しておりましたが、人が好き・仕事が好きな私の心を満たしてくれるこの職場に、5年ぶりに戻ってまいりました。これから、患者様を中心にご家族も、もちろんスタッフも、みんなが笑顔でいられるように貢献できたらうれしいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師 石野留美

6月から外来で勤務させていただいている石野です。今まで看護師として働いてきた中では経験した事のなかつた検査の介助や処置につかせて頂いて、毎日新鮮な気持ちで働かせて頂いています。

先輩方が優しく丁寧に御指導して下るので、とても有難く思っています。これからも沢山学び、一生懸命勤務していきますのでよろしくお願い致します。



医事 馬場美由季

7月よりご縁があってこちらの病院でお世話になっております。慣れない場面もあり、皆様にご迷惑をお掛けすることがしばしばありますが、周りの方々の親切なご指導により私も前向きに頑張ることができます。コンシェルジュという私には少し聞き慣れないお仕事ではありましたが、病院の入り口に立って患者様に気持ちよくご利用頂けるよう日々心掛けております。微力ではございますが、病気などでお困りの方に少しでも寄り添い、何かお手伝いができますよう頑張って参ります。